

向陽中学校 学校運営協議会 だより 第32号

令和2年10月
発行 / 編集 杉並区立向陽中学校運営協議会
〒168-0073
東京都杉並区下高井戸 3-24-1
電話：03-3302-2989
FAX：03-3302-5736
<http://www.suginami-school.ed.jp/kouyoucyu/>



向陽中学校 校長
中谷 愛



学校運営協議会会長
鈴木 祐二

「新しい日常」の確立と生徒の支援に向けて

向陽中学校は、杉並区で最初のコミュニティ・スクールとして、今年度も保護者の方々、地域の方々とともに歩む学校づくりを進めてまいります。今年度、本校では、教育目標の「よく考える人」を重点として、「自ら学び、成長する生徒の育成」、「持続可能な社会を創る人を育てる学校」の2つの柱を掲げて学校経営を進めています。学校運営協議会では、この目標を共有し、特に、志をもって自らの道を拓く生徒を育成するための取組や、昨今の新型コロナウイルスへの対応として、持続可能な「新しい日常」を確立していくための方策等、教育活動の質的向上を目指し、御意見をいただきながら協議を進めています。先の学校運営協議会では、第一学年の理科の授業で、カエルの免疫力についての教員の話を生徒が熱心に聞いていたエピソードを紹介しました。このような実社会の課題を考えることにつながる学びを大切にしていきたいと思います。本校の教育並びに学校運営協議会の活動にご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

Bridge the Gaps

明治以来の発展途上国型の教育「知識・画一・管理」で育つ能力(AI代替可能)と社会が求めるものとの大きなギャップがあります。ですから学業優秀でも社会に出て評価されない人は多くいます。最低限の知識は頭に叩き込んで置く必要が有りますが、「知識」は道具で、活用する能力こそが問われます。それは「好奇心・実行力・アイデア・リーダーシップ・正直・利他の精神・いたずら心…」こうした多様な能力です。画一でなく多様、即ち他人と違う自由な発想が尊ばれますし、机上の理屈以上に体験や追体験が能力の源なのです。ですから海外でも「(自分の頭で考え説明する)スピーチ」や「正解のないテーマでの討議」など主体的に考える学習が多いのでしょう。わが国でもこのギャップを埋める教育改革の試みが続いています。多忙な既存の教員がすべてを担うのは至難の業です。幸い当地域には様々な実体験をして来た豊かな人材層が有り、地域の方々が講師を勤めたり、皆で生徒の報告を聴く授業なども行われて来ました。生徒のサポートを続けている地域クラブ「KSCC」やNPO法人も有ります。未だ残る大きなギャップを埋めるべく、今こそ学校+地域で「知的好奇心を刺激する」授業創りにチャレンジする時です。



学校運営協議会

向陽中の学校運営協議会は、法令^{*1}で決められたことを最低限行った上で、直接生徒の皆さんの役に立つことをしようと動いています。そのために協議会は多様な委員で構成し、率直に質疑応答をすることを目標としています。

コミュニティ・スクール

今、文部科学省はすべての公立学校を「コミュニティ・スクール」と呼んでいます。学校を生徒と教員の閉ざされた世界にせず、保護者や地域の人々の力も活用して皆で支えて行こうとの趣旨です。学校・地域・保護者が一体となり、より良い学校教育と特色のある学校づくりを目指していきます。そしてまた、地域に信頼される学校づくりを行うことが求められています。コミュニティ・スクールは、そうした学校づくり基盤となるものです。保護者や地域の人達が運営協議会を通じて学校運営に携わります。

多様なメンバー

学校運営協議会は、このコミュニティ・スクール運営の中核組織として、学外の委員11人と校長先生で構成されています。それぞれの経験を生徒のために活かしながら活動をしています。学校運営協議会の役割が十分機能することにより、地域・保護者が期待する学校の特色が継続し、より良い環境で変わらず維持していくことが可能となります。

具体的な活動

毎月1回2時間ほどの会議で、学校から現状説明(特に問題が有った時は必ず報

告)を受けます。そして、運営協議会の委員より具体的に質問を提示し、遠慮のない意見を言うことで、校長先生の学校運営の参考になればと思っています。ここでは、外部からの視点に存在意義があると思います。

^{*1}:「学校運営の基本方針の承認」「学校運営・教育活動に関する意見具申」「教員の任用に関する意見具申」「保護者等の意見要望の把握と協議結果の情報提供」(地方教育行政法第47条の6)

令和2年度学校運営協議会

6月29日(月)、7月22日(水)、向陽中学校運営協議会が開催されました。教員より学校の様子や生徒達の近況報告、また、事務方より学校の予算決算の報告などが行われました。その後、校長先生より学校経営方針について「自ら学び、成長する生徒の育成」「持続可能な社会を創る人を育てる学校」は大人も生徒も含めて進めていきたい目標であることなど説明がありました。また、「学習環境の基盤の構築」

左：入江 優子 委員
中央：林 政夫 委員
右：箕輪 留美子 委員



向陽中の 学校運営協議会

左 : 中谷 愛 校長
中央 : 鈴木 祐二 会長
右 : 齋藤 敬 委員



について、第一に新型コロナウイルス感染症対応に配慮していくことを基に進めていきたい旨の説明もありました。



村野 東一 委員

質疑応答

今回の定例会では、校長先生に協議会の委員が素朴な質問を投げかけました。

Q.4~5月の自宅学習は授業時間数上カウントされないのでしょうか。

A.一部の教科では、動画配信の視聴後に課題に取り組むことでカウントできるようになる予定です。

Q.生きた学習と言っていた修学旅行・向陽祭・運動会・部活動が、このような状況下では、授業に劣後させられることはありませんか。

A.すべて感染症対策を講じながら実施する予定です。

Q.1年生の集団の絆を伸ばす場面(フ렌ドリーシップ・運動会)が今年はなかったの、どのような生活をしているのですか？

左 : 原田 崇史 委員
中央 : 齋藤 佳子 委員
右 : 桜井 誠人 委員



A.大きな問題はない。1学期は学習面が中心で定期テストを通して中学生になったことを実感したようです。

Q.定期考査が年4回になり、その分のフォローをどのようにしているのですか？

A.例えば数学は隔週で定着状況を確認する取り組みを進めています。個人で学習をデザインすることも大切です。

Q.置き勉について、世の中全般の問題ですが、長い間保護者からも指摘されながら結果的にどう改善したのか分かりません。試行期間を設け問題なかったと云う話まで聴いています。皆(教員の皆さんも多分)解決すべき件と認識しているのだと思います。進めるためには何がネックなのでしょうか。

A.1年生では置いていって良くても不安で持ち帰る生徒もいます。2,3年生になると要領を得て置いていけるようになります。また、社会の資料集のような副教材の内容も最近では教科書内に入っているため買わないようにしています。

Q.情報リテラシー教育について、SNSによるトラブル、犯罪回避のための学習をどのようにしていますか。以前、慶大の専門サークル部員と教授によるワークショップをやったこともありましたが。

A.今年度は、セーフティー教室でSNS関係について行う予定です。また、技術科の教科の中で情報モラルについて学習しています。スマホなどが社会でどう活用されているのかも学びます。

Q.熱中症の物差しWBGTについて。

A.本校独自でWBGT(暑さ指数)計測機器を先日購入し使用するようになりました。

Q.式典の男女別入場・着席や男女別呼び方について、すぐには変わらないでしょうが、両先生の見解をお願いします。

A.(副校長)本校では、男女別で行って

り、校内において議論することはありません。

(校長)呼び方については、東京都教育委員会が発行している「人権教育プログラム」の中の人権感覚に示されるとおり、「あだ名」「呼び捨て」等の人権に未配慮な呼び方はいけないとしており、これらを踏まえていかなければならないと思います。

先生方のお答えを受けて委員より、「さん付けで呼ぶことは、生徒を大人として扱うという観点で大事なことと考えます」という意見がでました。

地域の力を生徒のために

本会の役割は学校支援本部・KSCC(地域クラブ)やNPOと協力して、子ども達の教育環境を豊かにしていくことです。例えば、向陽祭合唱コンクールの前に、音楽科の教員のお手伝いとして、地域在住の音楽家の方々に合唱の指導をお願いいたしました。生徒達は、プロの方々の指導から大きなものを得ることとなります。そして、無料学習支援の場であるCafe勉の設置等々も進めています。このように学校と地域の橋渡しをすることにより、生徒達が地域の豊富な人材の力を得ることが可能となります。保護者の皆さまもまた地域の人々です。皆で知恵を出し合い、一歩踏み込んで身体を動かし一緒に生徒にとってのより良い学習環境をつくり出していきたいと思います。

小幡 徹 委員



地域との関わり

各団体と連携協力し、生徒への必要な支援について協議し実行します。

Cafe 勉
木曜 Cafe 勉

学習支援の会である Cafe 勉(定期考査前3～4日間の放課後)と木曜日のCafe 勉(略して木曜 Cafe 勉)が新装開店いたしました。

		日程	開催時間	場所	主催／後援
学習支援	KOYOスタディ	定期考査前の土日	9時15分～11時50分	向陽中図書室	土曜日学校実行委員会
	Cafe 勉	定期試験の前3日間	17時～20時	ゆうゆう永福多目的室	NPOすぎなみ子どもサポート
	木曜Cafe 勉	木曜日の放課後	17時～19時30分	ゆうゆう永福多目的室	NPOすぎなみ子どもサポート
	向陽祭合唱指導	向陽祭前		教室	地域の方々（声楽家）
	琴、体育科テニスの指導	要請に応じて		音楽室、テニスコート	学校支援本部
部活支援	吹奏楽わくわくレッスン	夏休み、冬休み他	15時30分～18時	音楽室	NPOすぎなみ子どもサポート
	バレーボールわくわくレッスン	要請に応じて	15時30分～18時	体育館	NPOすぎなみ子どもサポート
	硬式テニス部の指導	部活動がある日	15時30分～18時	テニスコート	向陽スポーツ文化クラブ
	卓球、陶芸、ダンス、ボランティア、美術部の指導	部活動がある日	15時30分～18時	それぞれの活動場所	地域の方々（外部指導員）
放課後	ひまわり教室	職員会議がある水曜日	14時20分～16時	ひまわり教室	学校支援本部
	茶道体験(子どもクラブ)	職員会議がある水曜日	14時20分～16時	旧クラブハウス 和室	学校支援本部
ボランティア	震災救済所立ち上げ訓練	年1回		向陽中校庭・体育館他	向陽中震災救済所
	町ぐるみ運動会	11月3日	9時～13時30分	向陽中校庭・体育館他	下高永福青少年育成委員会
	向陽こどもまつり	2月最後の土曜日 または3月最初の土曜日	10時～12時30分	向陽中体育館	向陽中学校区地域教育連絡協議会

委員紹介

1	会長	鈴木 祐二	卒業生 NPO法人すぎなみ子どもサポート代表 元三菱UFJ信託銀行副社長
2	会長代理	斉藤 敬	向陽スポーツ文化クラブ副会長 音楽事務所経営 運送業経営
3	委員	入江 優子	東京学芸大学准教授
4	委員	小幡 徹	卒業生（部活動盛んな時代・科学部所属） 滋賀医科大学特任准教授（植物生理生化学）
5	委員	小早川 康子	現PTA会長
6	委員	齋藤 佳子	杉並区青少年委員（向陽中・高井戸第三小担当） 学校支援本部員
7	委員	桜井 誠人	卒業生 宇宙航空研究開発機構（JAXA）研究領域主幹 （「水・空気の再生」について研究）
8	委員	林 政夫	塾経営（西永福）



9	委員	原田 崇史	弁護士 浜田山在住
10	委員	箕輪 留美子	元PTA広報委員長 都立高PTA会長
11	委員	村野 東一	卒業生 学校支援本部員 元日産自動車勤務（メキシコ駐在等）
12	委員	中谷 愛	学校長